

授業科目	*パラグラフ・ライティング (dクラス)				単位	2		
履修	必修	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語)		ナンバリング	EN21208J/ E		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP4-2 DP5-1			
担当教員	Andrew Zitzmann							
授業概要	<p>前期の「ライティング基礎」で養った力をベースに、提示されたテーマについて自分の考えを、適切な単語や構文を選びながら、          パラグラフライティングの形式に沿った英文を書く力を養成する。          パラグラフライティングから発展したエッセイやアカデミックライティングへの基礎を養成する。</p> <p>Note:          1. All classes will be taught in English.          2. Parts of this course could be conducted online.</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>パラグラフライティングの形式を理解し、その形式で英文を書くことができる。          社会のいろいろなテーマや問題について、自分なりの意見を持つことができる。          自分の意見を、自分の英語力に即したレベルで、英語で表現することができる。          アカデミックライティングの基礎にのっとった論旨展開ができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合/ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	25	45	0	15	15	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		10	20		5	5	40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)		10	10		5	5	30	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)		5	15		5	5	30	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
英語におけるパラグラフの概念を正確に理解し、単文レベルでは、基本的な英語の間違いがなく、十分意味を伝えることができ、パラグラフ単位の英文でも、十分にその意図が伝わる構成で書くことができる。 また、社会問題などについてパラグラフライティングやエッセイが書けるだけの自分の意見をしっかり持っている。				英語におけるパラグラフの概念を理解し、自分の主張を理解してもらえる英文を書くことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	授業オリエンテーション、ガイダンス。次週以降の指示。	講義と演習。	教科書購入確認、内容および活用方法確認。	30
2	指示されたテーマ(例:自分の家族)に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
3	指示されたテーマ(例:留学)に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
4	指示されたテーマ(例:アルバイト)に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
5	指示されたテーマ(例:大学生活)に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
6	指示されたテーマ(例:ボランティア活動)に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
7	論文とは?	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
8	Introductory paragraph に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
9	Supporting paragraph に沿ったライティング演習	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
10	ピアフィードバック	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
11	選んだテーマに沿ったライティング演習(Introduction)	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
12	選んだテーマに沿ったライティング演習(Support)	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
13	選んだテーマに沿ったライティング演習(Conclusion)	課題提出、講義、演習	英文作成演習	30
14	最終レポートについての説明と準備作業	課題提出、講義、演習	レポート作成準備	90
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	基本的語彙力、英文法力、文章構成力、論理的思考力			
テキスト	New Friends: On the Way to Writing Fluency. 2013. Hiroshi Ozono and Andrew Zitzmann. 南雲堂.			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	English-Japanese/Japanese-English Dictionary, teacher handouts, clear file for writing portfolio			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>英文で日記を付ける習慣をつけるなど、とにかく、なるべくたくさん、回数も多く、英語で文章を書くことが大切。リーディングの際も文章構成を意識して読むと、ライティングでもどのように構成すれば良いかしっかり理解できるので、両方を大切にすること。</p> <p>読み書きを「呼吸」にたとえると、リーディングは「息を吸う」ライティングは「息を吐く」と言える。2つのスキルは切り離すことはできない。</p> <p>翻訳サイトの使用は禁止する。単語の並べ方は自分の頭で考えなければ上達しないし、翻訳サイトが示す英文が正しいのか判断する英語力がなければ百害あって一利なしである。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>Assessment is done weekly, so keep up with the assignments.</p> <p>遅刻2回で欠席1回とする。</p> <p>20分以上の遅刻は欠席扱いとする。遅刻・欠席や、居眠り・スマートフォンの操作などは評価方法「その他」の中で減点対象となる。</p> <p>提出についての指示や期限を守ることも「その他」の評価対象である。</p> <p>提出した英文は、チェックやコメント入れて返却しますが、そこで指摘された間違いや改善点を、それ以降の提出物で反映させてください。</p>			

